

製品名: 伸長因子 1A1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01928**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.28mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 50 kDa; Observed MW: 50 kDa

抗原情報

遺伝子名	EEF1A1
別名	EEF1A1; CCS-3; CCS3; EEF-1; EEF1A; EF-Tu; EF1A; GRAF-1EF; LENG7; PTI1; eEF1A-1
遺伝子 ID	1915
SwissProt ID	P68104
免疫原	ヒト eEF1A1 の合成ペプチド

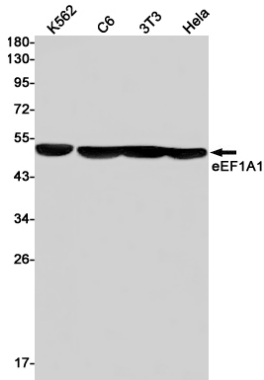
背景

このタンパク質は、タンパク質生成中に、リボソームの A 部位へのアミノアシル tRNA の GTP 依存的結合を促進します。

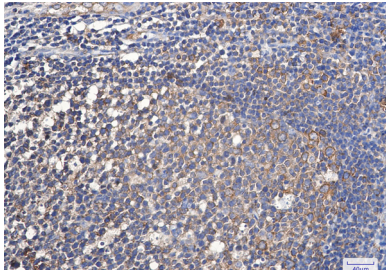
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



伸長因子 1A1 抗体を使用した K562、C6、3T3、Hela 溶解物中の eEF1A1 のウエスタンブロット分析。



eEF1A1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。